

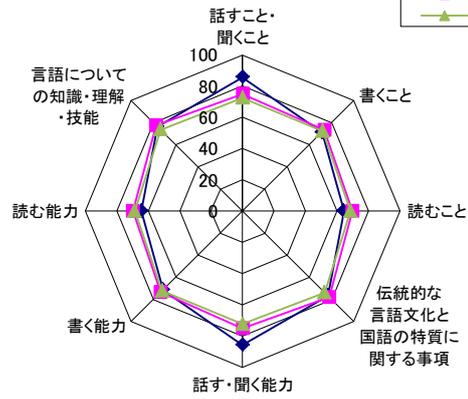
宇都宮市立平石北小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率



★本年度の国、市と本校の状況

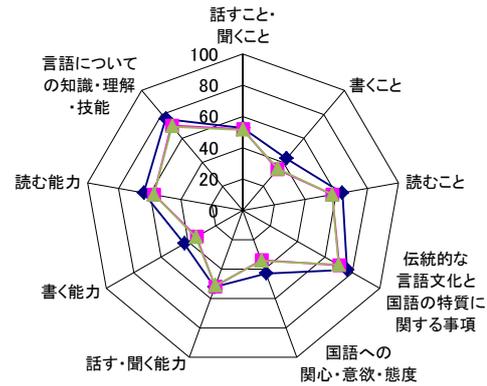
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	85.7	74.9	72.4
	書くこと	71.4	73.4	72.2
	読むこと	64.3	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.6	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	85.7	74.9	72.4
	書く能力	71.4	73.4	72.2
	読む能力	64.3	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	76.6	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	52.4	51.9	51.2
	書くこと	42.9	34.0	34.4
	読むこと	63.9	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	42.9	34.0	34.4
	話す・聞く能力	52.4	51.9	51.2
	書く能力	42.9	34.0	34.4
	読む能力	63.9	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	76.2	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

・「国語の勉強は大切だと思うか」「国語の授業で学習したことは、将来役に立つと思うか」という質問に対し、全員が肯定的回答をしていることから、国語の学習の大切さをよく理解していることが分かる。
 ・「国語の勉強は好きか」「読書は好きか」という質問に対して、否定的回答もややあることから、授業構成の工夫や、読書活動への意欲付けが必要であると考えられる。

★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話している内容の観点を整理したり、情報に関連付けたりする問題においては、市より正答率が高い。 ・自分の立場を明確にして、質問や意見を述べる問題においては、29%と正答率が非常に低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思考を深めるためのグループ活動や、自分の思いを言葉に表す活動の場を多く設定する。自分と相手の意見を比較しながら聞いたり、質問を考えながら聞いたりするようにする。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均よりやや下回っている。特に、情景の描写を正しく理解したり、立場を明確にして質問や意見を書いたりする問題については、正答率が30%未満と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、教科書教材を用いて要点をまとめたり、日記等を書いたりなど、書く活動を多く取り入れる。 ・文章中の言葉に着目し、言葉に即した情景描写をしていくようにする。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均よりやや下回っている。いくつかの情報を関連付けながら疑問を捉えたり、情報をまとめて意見を書いたりする問題においては、特に低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材を用いて、学年に応じた読み取り方のポイントを各学年でしっかりおさえる。 ・教科書教材と同じ作者や同じ題材の作品を比べて読む活動を取り入れ、文章の特徴に気付くことができるようにしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市の平均とほぼ同じであったが、漢字の読み書きについてや、文章をつなぐ仮定の表現を問う問題については、90%前後の児童が適切な答えを選ぶことができた。 ・故事成語の意味や使い方を問う問題については、正答率が40%未満と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市で行っている「宮っ子学力ステップアップシート」を活用し、漢字や計算の基礎的・基本的な学力の向上を図る。 ・授業中や朝の時間などに、音読や詩の暗唱・群読等に取り組み、言語活動の幅を広げていく。